

西成区「あいりん地域のまちづくり」 第65回労働施設検討会議 議事概要

1 日 時 令和4年4月25日(月) 午後7時05分～午後8時20分

2 場 所 西成区役所 4階 4-8会議室

3 出席者

(有識者3名)

福原大阪市立大学名誉教授

寺川近畿大学建築学部准教授

白波瀬関西学院大学人間福祉学部准教授

(行政機関20名)

大阪労働局 根本会計課長補佐、八又職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労働環境課 安孫子副理事、中村参事、佐々木課長補佐、ほか7名

西成区役所 柏木総合企画課長、狩谷総務課企画調整担当課長代理、ほか4名

(地域メンバー11名)

白木萩之茶屋第5町会長

松本NPO法人釜ヶ崎支援機構理事長(代理)

山田NPO法人サポーターズハウス連絡協議会代表理事

横田公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

荘保わが町にしなり子育てネット代表

森下釜ヶ崎反失業連絡会共同代表(代理)

山中釜ヶ崎日雇労働組合委員長

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

水野日本寄せ場学会運営員

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

小林新型コロナ、住まいとくらし緊急サポートプロジェクトOSAKA責任者

4 議 題

新労働施設に係る基本設計の報告について

5 議事

(→: ご意見等、有: 有識者、国: 大阪労働局、府: 大阪府、区: 西成区役所、  
セ: 西成労働福祉センター)

府 みなさんこんばんは。本日も夜間遅い時間にお集まりいただきましてありがとうございます。前回の会議は2月でしたが、コロナの関係で書面での開催となり、内容としましては、まちづくり会議で報告するそれまでの議論の経過と提供資料についての確認をさせていただきました。対面での会議となりますと、前回は10月25日になりますので、ちょうど半年ぶりということになります。今回は新しい施設に係る基本設計が仕上がりましたので、そのご報告をさせていただきたいと考えております。基本設計の策定に関する検討にあたっては、タイトなスケジュールの中、ご検討等をいただきありがとうございました。今回の基本設計では、例えば機能面では入ってす

ぐに分かりやすいようにインテーク窓口を配置するなど、みなさん方の意見を踏まえた形にさせていただいたところでは、また、外観面でも病院みたいで無機質というご意見もいただきましたので、その辺りもデザイン面に配慮するよう業者の方に依頼しまして、今日カラー刷りの資料をご用意させていただきました。また、スライドでもご覧いただきたいと思います。簡単ではありますが開会の挨拶とさせていただきます。

有 それでは第65回の労働施設検討会議を始めたいと思います。事務局からもあったようにコロナ対策で前回書面開催となったこともあり、今日みなさん方の顔を見て、本当に久しぶりだなあと感じています。私的な話となりますが、たまたま随時開催となったタイミングで体調を崩しまして、委員のみなさんは知っている方、知らない方もいると思うのですが、いろいろご心配をおかけしました。体調の方も回復してきて、ようやく私自身今日の会議に臨めるようになりました。これから引き続きこの会議を担っていきたくと改めて決意しているところですので、よろしくをお願いします。今日の議題ですけど、次第にもあるとおり新労働施設に係る基本設計の報告というのがメインとなります。基本設計については、昨年みなさんと議論をしてきましたし、公共建築室や設計業者の方たちにも直接意見を聞いていただいて、みなさんの意見や要望などを踏まえて作成されたというところでは、後ほど行っていただきたいと思っております。それを踏まえて、またみなさんからご意見等をいただきたいと思っております。基本設計では、地上5階建て、延床面積はお手元の資料の取りまとめでは8036.23㎡とありますが、ちょっと増えて8044.40㎡になっていますので、訂正いただければと思います。延床面積は大変広いものとなっております、新しい労働施設の支援並びにサービスを今後みなさんとしっかり話し合っていきたいと思っております。昨年はNPO釜ヶ崎支援機構さんや大阪ホームレス就業支援センターさん、西成労働福祉センターさんにそれぞれの事業等の説明をしていただきました。それを踏まえて、新しい労働施設ではどんなサービス支援をやっているのかという頭出しの議論をしてきたので、その延長線上のことを進めていきたいと思っております。それから次第の方には出ていないですけど、以前施設の紹介でグッジョブセンターおきなわの紹介があったと思っておりますが、今日は京都にある京都ジョブパーク、これは京都府さんが主体となっている施設です。そこでの就労支援サービスのあり方を事務局並びに有識者の方からご紹介いただけるということで、今後、新しい労働施設の中身をどうしていくのかについて、参考にしていただきたいと思っております。みなさんにも学んでいただき、議論を深めていければと思います。よろしくお願いたします。それでは前回の振り返りをしていきます。お手元の第64回労働施設検討会議議事要旨案をご覧ください。前回は2月7日から2月16日の書面開催ということで実施しました。みなさんの意見は特になしということでした。ここでは第15回あいりん地域まちづくり会議に向けた労働施設検討会議の議事のあらまし、すなわち去年会議で何やっていたのかを取りまとめたものを書面開催でみなさんにお諮りしました。そして、あいりん地域まちづくり会議ではお諮りした労働施設検討会議の議事のあらましを提示し、報告させていただきました。そういうことを踏まえて、今日は基本設計の報告をしていただきたいと思っております。みなさんから出していただいたご意見を取りまとめた一枚ものの資料となります基本設計の取りまとめ、それが反映されているかをご確認いただきたいと思っております。では先生よろしくお願いたします。

有 みなさんこんばんは。よろしくお願いたします。今お話にありましたように、新労働施設の基本設計が作成されましたのでご報告いたします。パワーポイント、そしてみなさんの方にはA3の大きな資料があると思っております。その資料とパワーポイントを見ていただきながらご確認いただければと思います。この基本設計は昨年公共建築さんの方公募をしまして、プロポーザルで設計会社さんの方に委託したという形になっておりますが、株式会社徳岡設計、株式会社E&Sエンジニアリングさんの設計共同企業体という形で作成していただいております。去年の6月28日には

設計事務所さんにもオブザーバーとしてこの会議にも来ていただき、みなさんのご意見なども聴いていただいたかと思いますが、それらを踏まえて今回完成しましたので見ていきたいと思えます。先ほど座長の方からもありましたが、この労働施設検討会議で労働施設に関する基本設計の取りまとめというA4のこれを仕様書として、基本設計の中で注視してくださいとお願いしたものがこれということになります。簡単に振り返りますと今ありましたように面積は8044.40㎡でちょっと増えましたね。設計デザインについての申し送り事項としては、若者、女性、外国人、障がいのある方などの利用を想定して、優しさや温かさを感じられるように配慮して設計してください。インターク窓口、いわゆる最初の面談、相談の窓口については、入口のあり方も含め、窓口としての親和性に配慮するとともに、動線もしっかりとシミュレーションした上で設計してください。メインの入口は南東の角とするものの、北側の入口については、親和性や見え方などにも配慮してください。環境問題や緑化問題、SDGsへの取り組みなど、新たな社会に向けた空間にすることも配慮してください。裏面ですが、ストックヤードについては、使い勝手や見え方も含めてしっかりと計画してほしい。オープンスペース待合については、その使い方の検討結果に合わせ、柔軟に対応できるように計画してほしい。清掃作業員詰所については、動線もしっかりとシミュレーションしてほしい。仕事を探すおっちゃんや若者、女性などいろんな人が寄りやすい空間及び使い勝手をセットに計画してほしい。将来北側にできる施設と直接行き来できる形を検討してほしい。という形でみなさんの方で取りまとめたかと思えます。それでは少し概要版を見ていただきながら、前方のパワーポイントでも確認していただきたいと思えます。地図で言うと建て替え対象地域ということで、計画敷地はこの南側の敷地になります。それからデザイン設計趣旨とデザインコンセプトということでここにも示されています。今回設計もみなさんのご意見を踏まえたうえでデザインしていく訳ですけども、コンセプトをはっきり示してほしい、これまでの会議の意見を踏まえて考えてほしいということだったと思えますが、今回出てきたのは緑の景観からの展開優しさや温かさへの配慮を踏まえたデザインになっているようです。特にデザインコンセプトで出てきますように、デザインのキーワードと言うかイメージは葉脈をイメージして建物の計画をしているということになります。元々このまちには緑が少ないと言うか、森がないということもあって、できるだけ緑を増やしていこうという提案もありましたし、建物自体があまり冷たい印象にならないように柔らかい形でデザインしてほしいという意向がありましたので、それを踏まえた上で葉脈型と言うか、木漏れ日が落ちてくるような計画にしようということでデザインされています。癒しの空間とか、光の入り方もなかなか難しかったと思うのですが、それが相互に重なりながら木漏れ日が自然に中に入ってくるような計画になっています。ですから立面的にも以前みなさんに見ていただいた図面でどこかの小学校と言うか、公共建築と言うかそういうのだったと思うのですが、委員会でも出てきたと思うのですが、ちょっと段差をつけて緑が見えるようにしてほしいという意見もあったかと思えますが、北側は段差ができて、緑化を進めていこうということで、当然敷地の中の緑化、壁面の緑化、それから屋上緑化含めてですね、なるべく緑化を進めていく計画になっています。これは南側からのアプローチの部分ですね。これも外観デザインについても先ほど言いましたように外からの光を緩やかに中に入れ込むということもありましたので、そういう意味でもパンチングメタルによって穴の開いた壁と言いますか金属板自体に穴が開いている。それが湾曲しているので太陽の光が移動する中で湾曲しているところによって光の漏れ方も変わっていくというような計画になっています。それからサイン計画は実施計画でより詳細にみなさんと議論したいなと思うのですが、今回の基本設計では1階2階3階4階、ある意味何処に何があるか分かりやすくするためにも、1階では新緑若草色、それがどんどん緑が紅葉していく感じで、階が上がるにつれて濃い緑にしていく、黄色になって、赤になっていくというような計画を提案しているサ

イン計画ですね。どこにいるか分かりにくいというのはダメだと思いますので、フロアにいるとどこのフロアにいるか分かるようになっていくということですね。動線については、これもずっと議論していました南海側に駐車場、南海高架側に駐車場がありまして、入口に入って中に入り込んで外に出るといって、一方通行の駐車計画になっています。それからみなさんからの意見にもありましたように、北側からの動線アクセスを考えてほしいとありましたので、2か所から出入口を設置しています。それと真ん中にはストックヤードがありますので、ストックヤードの見え方というのは気になっていたところですけど、少し格子状にしながらあまり外に見えないようにしています。それから東側、南側にも入口があります。全体としては1、2、3、4階建てで屋上にも上がれるようになっていきます。忘れてはほられないと思うのですが、計画としてはこのような計画になっています。みなさんのお手持ちの方が分かりやすいかも知れませんが、赤いところが、今回のプランの特徴ということで24時間オープンになっているところ、ピロティのところですが、駐車場として使いながらも、広く大きく使えるところですね。それから薄くピンクのところ、建物の中ではないのですが24時間一体的に使えるオープンスペース、段階的なオープンスペースを1階では計画しようということになっていましたので、これがこの建物の大きな特徴だという風に思います。この間ですね、どこで閉めるか、開けるかと言った議論があったかと思うのですが、ここは24時間開けていくというのがこの施設の大きなポイントだと思います。それから、入口のところではトイレもかなり多く計画しておりますし、上にもトイレがある。1階で言うと、インテークのところがありますね、真ん中のところにあります。これはどこの出入口から見ても、このカウンターというのが見えるようになっていく。これは委員さんからだったと思いますが、丸くしてほしいということで、なるべく受け止めやすいという、そういう位置づけにしています。ただし、インテークの内容については、もう一歩今後深く議論していくことがあるかと思いますが、あとは西成労働福祉センターさんの窓口になっております。それでですね、2階3階もこのような形になっていきますが、2階は青いところが職安さんですね。それからオープンスペース待合いが467㎡と78㎡ですし、1階も含めると1,000㎡近くあると思いますけれども、オープンスペース待合いがかなり広くとられていて、エスカレーターで1階2階が行き来できるというような、計画になっております。それからですね、手前側ですね、共用の相談室・会議室、それから清掃作業員の詰め所がありますが、今回のもう1つの目玉である一体的事業スペースというのが西側の水色のところで位置付けられています。あと廊下ですね、廊下の北側には今後北側に何かできるかも知れないということもありましたので、この部分を開口できるように、開口と言いますかそのまま広げて外に出れるような仕上げになっています。それから3階です。右側の3階については、これは労働福祉センターさんになりますけど、事務スペースがありまして、共用会議室があります。あとは、技能講習室がありまして、年金事務所さんが北側のところに部屋が用意されています。それで4階、一番上の階ですね、ここは就業支援センターさんですけども、このブルーのところは作業スペース、多目的室等々になっています。ここで指摘されていたのは、共用トイレ等々については、ぐるっと回りながら、色んな所から入れるようにということをご提示いただきましたので、そのような形になっております。それで屋上に上がれるようになっていて、屋上緑化も設置されることになりました。前回の計画からと言いますと、かなりみなさんのご意見もこの中に組み込んでいただいたのではないかと思います。イメージとしては、比較的柔らかい形になっておりますし、緑化する部分も単に緑を置いてるのではなく、鑑賞できるところを比較的多いめに取って、またそこで憩えるような空間計画にしていたのではないかと思います。これが立面図ですね、ぐるっと丸くなっているところがパンチングメタルですね。金属製のフレームが湾曲しているんですね、そこが全部穴が開いてまして、それが開口部にいろいろと設置されている。長くついているところと、短くついているところ

ると。特にここは西陽がきついということもありますので、西陽によって内部の作業がしにくということもありましたので、それについての配慮もしていただいております。ルーバーをつける、ルーバーによって日差しの状況を変えていこうという特徴になっております。それから構造計画も、一般的な構造仕様に比べて、1.25倍の構造計画ということで、比較的地震等が起こってもこの施設で安心して、中で避難するという計画になっている。それから、これがですね環境配慮計画ということで、人の代替環境用としてLow-e 複層ガラス、健康ガラスと言いますが、それで省エネ関係で、断熱材の採用とか、先ほど言いましたけどパンチングパネルによる、ルーバーなどで省エネ効果を高めていこうということですね。それから緑化計画も進めていますので、環境を配慮した形となっています。この図にですね断面図がありますが、段々になっているのですね、それが緑の景観として繋がっていけるようにという空間になっています。南側は、太陽光線をどう取るかが重要ですし、あとは風通しを良くして全体的な省エネを図っていくというような計画になっています。あとここでは、業者さんの図面では、左手のところ多目的なオープンスペース、住民の福利・にぎわいエリア、オープンスペースと書いてありますが、これは正確に言いますと、全体が住民の福利・にぎわいエリアだったと思いますが、そうですね。その中で、オープンスペースを多目的広場と呼んでいたかと思いますが、この設計図の概要案とは少し違いますので、ここでお示ししておきたいと思います。ということで、一定みなさんからいただきました案をこのような形で基本設計として取りまとめたことだと思います。あとですね、実施設計、ここにも書いてあるんですけども、今後社会情勢も色々と変化しておりますので、今のところ整備費というのは48.5億というキャップと言いますが、上限が決まっております。その中でどこまでできるかということになりまして、実施設計、建築工事費も今後出来上がる時の費用、値段ということにも関連してきますので、今後基本設計がこの通りの規模設備になるのかは注意深く見ていただいて、ということになることも一つ示しておきたいと思います。以上です。みなさん何かご質問等ありましたら、ご意見いただきたいと思います。何か補足ありますか。

府 これをやっとなご披露できるときになったので、事務局としては胸を張っていいものができているなと思っているのですが、いかがでしょうか。8ページで各立面が4面ありますけれども、これは当初パンチングメタルとかがないものを見ていただいたとき、のっぺらぼうで真っ白なので病院みたいだという声が以前ございました。当時と比べると業者さんにも配慮していただいて、曲線のパンチングメタル、そして緑を結構取り入れていただいているので、やさしさであるとか、温かさ柔らかさにも配慮していただいているのではないかと考えております。

有 ちょっと教えてほしいんですけども、パンチングメタルのパンチのところは、例えば葉っぱのような形でパンチングされているということですかね。

有 おそらく、ここで示されているのは普通の穴だと思います。普通はあんまり湾曲させない、真っ平なんですけれども、この場合は湾曲させて光の入り方で影の出方を変えようとしているのではないかと思います。

有 木漏れ日というか、葉っぱのような。

有 それはなっていないです。書いていないんですけども、恐ろしいお金になりそうに思います。

有 そしたら、今は白で写していると思うんですけども、もうちょっとカラフルであってももいいんじゃないかと思うんですけども。

有 それはみなさんによりますけれども。

有 単色あるいは、いくつかの色を混ぜて。

有 色というよりは、仕上げも全部同じパンチングメタルにするかどうかとか。こういう形状が全部ついていますが、本当にそれがいいかどうか、もう少しイメージを持ちながら。

有 外観も落ち着いた雰囲気と同時に、目立つ感じで。

有 そうですね、このままのパンチングメタルの仕上げではかなり光ってしまうことになるので、その辺りは実際の物を見ながら実施設計では調整する必要があるだろうと思います。

有 モスグリーンとか、黄色がかった色とか面白いかなと思う。

有 そうですね。南側は横のルーバーなんです。ちょっと全面的にこの湾曲の物を使うかどうかは検討だと思います。

→ はい。この建物自体のことではないんですけども、現実に関本当に支障をきたしているのは、風の強さですよ。夏はいいけど、風を密にしてむしろどこか街の中に引っ張っていきたいぐらいの涼しさなんですけれども、冬場はどうにもならない厳しさがありますよね。あれの対策は今の科学でなんか、例えばあれがどう来ているか見ながら、コントロールできるものであれば、そういうのも含めてやれないものかと思ひますよね。せつかくこれやっても、その分がものすごくきつかったりしたら、ちょっとがっかりするから。

有 思ったよりも、住宅の間の風が強いですよ。

→ ものすごいですよ、あそこに行くと。

有 ビル風ですね。

→ ビル風ですけれども基本的に、ビル風だからいいんですけれども。

有 新しい建物自体は、風によって何か大きな影響があるということはないと思ひます。環境とか暖房も含めて、一応設備の方はかなりしっかりしていると思ひますので。

→ その部分はそうですね。

→ このパンチングメタルは風が吹き抜けるので、少し緩和されるんじゃないですか。

有 なるでしょうね。

→ そうなんですか。

有 なるべく複雑に風を変えろという効果はあります。

→ ああそうですね。

有 今言われたように、風は気にはなりますね。

→ 気にはなりますので、検討課題の一つに入れておいてほしいですね。

有 はい、ありがとうございます。

府 あと、この図面の部分が結構緑化されるようなんですけども、管理費がどうか。維持管理を行って行くに当たって、結構壁面緑化や植栽はコストが高いついていきますのでね。

有 維持管理をどうするかというマネジメント、誰がどうするんだというのが結構重要なテーマになってくるんでしょうね。

府 まさに北立面なんて結構緑が立ち上がっていく感じで、いいんですけれども、維持管理の方がちょっと気にはなるんです。

有 社会的にも緑化というのは当たり前になりつつあって、色んな技術はあるんですけども、維持管理費、ランニングコストというのは結構検討が必要なテーマでもあります。ただそれにもかからぬ方法が色々出てきています。

有 環境ということで、太陽光発電みたいなものをつけるみたいな話は。

有 はじめは提案していただいていたんですけども、それは無くなりました。だから実施設計までに、そういうメンテナンスとか、太陽光は今回入れていただけませんでしたけれども、環境とかそういうところをもう一度見ていただくことは可能かなと。よろしいでしょうか。

→ あと、防災の観点で北側の議論のどこかで、どういふ防災の関連のものを埋め込んでいくことを議論するんでしょうけど、今の労働施設の段階で配慮しておくべきことを議論しなくていいんですかね。

有 今建物の中に防災対応の具体的な避難所計画とか、そういうものにはなっていないと思いますが、ただ構造的にはかなり耐震性も高いものになっているのと、空間自体は広いので、ゾーンの空所をいざというときにどうするかというのは、まさに次のマネージメントの議論になってくるかなと。今、恐ろしいほど建築額が上がっているんで、実際建つ頃には下がってほしいと思いますけれども。48.5億円は下がらないということですね。今のところは。

府 下がらないというより上がらないということですね。下がるのは全然OKです。

有 よろしいでしょうか。

有 基本設計の報告の議論はこれでよろしいでしょうか。また、今後も設計会社の方で具体的な提案も出てくると思うので、その都度の会議でみなさんにご報告させてもらいながらご意見を伺っていきたくと思いますので、よろしく願いいたします。

有 よろしく願いします。

有 それでは、2つ目のこれも報告というか参考事例として紹介する京都ジョブパークの取り組みについてご紹介させていただきたいと思います。

有 みなさんこんばんは。今、先生から案内があったように京都ジョブパークというところなんですけども、見学に行って参りましたので、簡単な報告をさせていただきます。みなさんのお手元にパンフレットがあると思いますので、こちらを見ていただいてよろしいでしょうか。この中に既に行ったことがあるよっていう方はいますかね。みなさん無いですかね。なぜ、ここを見学したのかということですけど、見学に行ったのは今年の3月10日です。目的なんですけども、この間、労働施設検討会議でも他の会議でも話題になっていたワンストップの相談窓口の作り方というのをちょっと勉強してみたいなあとと思って、それについて、2020年1月にグッジョブセンターおきなわというところに視察に行ったんですね。ここにいる何人かのメンバーと一緒にきました。ここが先駆的な事例ということで、特に就労と福祉の課題をワンストップで受け止める複合施設ということで見に行きました。このグッジョブセンターおきなわに行ったことによって、非常に議論が活発化したかなあと私思っているんですね。具体的な取組み事例を知ったことによって、ここで作ろうとしている新しい労働施設でもこんなものが必要じゃないかという議論が出来るようになったのかなあと思っています。ただ、事例がそれしかないというのは、これから議論していく上ではしんどいなと思ったので、他の地域ではどうなっているのかなということで京都ジョブパークに行って来ました。京都ジョブパークというのは、実はグッジョブセンターおきなわを作る時に参考にした施設で、なのでグッジョブセンターおきなわが参考にしているということで、大もとかなと思いますね。そういう目的ですね。京都ジョブパークのパンフレットを見ていただいたらいいかと思いますが、開いていただいてこの紫の頁ありますよね。紫の頁にどんな機関が入っているのかが館内マップの一覧で分かるかなという風に思うんですが、かなりまあ何て言うのか、いろんな機能を複合化していることがここからも分かるかなという風に思いますね。今、ここで作ろうとしている新労働施設よりかは、かなり取り組みの内容に幅があるかなと、メニューが多いなという感じがしますが、特にここと関係がありそう、あるいは、この労働施設検討会議の議論と関りがありそうだなと思っているのは、館内マップの①の総合受付のところですね。ここの作りがどうなっているのかということに注目して見学に行ったのと、あと我々が作ろうとしている新労働施設では、就労に課題のある方ですね、なかなか安定した就労に結びつきにくい層という人たちがたくさん来られるだろうという風に想定しておりますので、それに関連して言うと館内マップの④の自立就労サポートセンター、生活相談コーナーというのがありますが、ここの作りがどういう風になっているのか。それから新労働施設では、ハローワークを埋め込んでいこうということで、ハローワークと地方公共団体の一体的実施事業の話がこの間やってきましたけども、それがここではどういう風になっているのかということ、館内

マップで言うと⑪番。この辺りは深く結びついているかなあと、関連しているかなとそんな風に思いながら見学して来た次第です。本格的な見学という訳ではなくて、1回ここに訪問して実際にみなさんと一緒にこの後、正式に視察に行かせていただく必要があるかどうか確認するという感じで行ってます。率直な感想としましては、行った方がいいなと、行く価値があるなとそういう風に思える施設でした。特に参考になったのは、総合受付のあり方です。かなりですね、京都ジョブパークでは重視していました。ここで丁寧な受け付けをして、カウンセリングをして、いくつかの専門的な窓口がありますけども、そこにお繋ぎするというやり方をしてるんですが、そのやり方がとても興味深かったということをご報告しておきます。それから、実際に私が行ったときにいろんな方にお話を伺ったんですけども、京都府商工労働観光部雇用推進室にお話を伺いつつ、一方でインターカーにもお話を伺っています。インターカーに関しては、キャリアカウンセラーという資格をお持ちの方が担当されていて、インタークの必要性がかなり高いですという話を聞いています。一見、就労課題がないような方に見えても、実際には発達的な課題とか精神的な課題を持ってらっしゃる方が多くなってきているということなので、やっぱり社会福祉の知識をしっかりと持ったインターカー、これがすごく重要だというようなことをおっしゃっていました。またですね、自立就労サポートセンターというところもあるんですけども、こちらに関してもですね、実際にこの京都ジョブパークに埋め込まれることによって、有機的な連携が出来てくるって話をされました。是非、視察にも来てくださいという風に言われていますので、また、今日この話を聞いて関心を持ってくださった方々に行く機会を作っていけたらなあとという風に思っています。また、質問等あればここで対応したいと思います、ひとまず簡単に報告させていただきました。場所は、京都駅から徒歩で行けるぐらいの場所ですね。最寄り駅は、近鉄の東寺駅です。ひとまず、以上です。

→ **実は、私が事務局長をやってます釜ヶ崎のまち再生フォーラムで、ここに見に行こうかという、視察団を組もうということで取り組んでいます。連休が明けたら呼びかけるつもりでした。みなさんの都合がいい日で最大人数が集まるようなところで。他にも取り組んでおられるところがあれば、共催という形でもいいですし、とにかく呼びかけるつもりでしたので、よろしければやりますので、おそらく5月連休明けてからですね、なるべく早い時間に実現にこじつけたいと思いますので、みなさんにご都合をお聞きしますので、よろしくお願いします。**

有 とりあえず、ご質問等があれば受け付けたいなと思うのと、大阪府さんの方からも何か補足等あればお願いしたいと思います。

府 実は、先生からのお話を受けて私も行って来ました。ここにあるこれだけの施設、これだけの館内マップにあるようなそれぞれのコーナー、実はこれら全体が一体的実施事業のための施設というか、この京都ジョブパーク全体が一体的実施事業として行っているところなんです。まあ、新労働施設の場合、一体的実施事業というのは一部のパーツと言うとおかしいですけど、西成労働福祉センター、職安、ホームレス就業支援センターがあり、一体的実施事業もやるという形で、それぞれ独立した施設、サービス、機関があって、それとは別に一体的実施事業をやろうというところなんですけども、京都ジョブパークの場合は、それを施設全体でやっているという、規模の大きさというのをすごく感じました。実は、この一体的実施事業をこの会議でも紹介させていただきましたけども、エル・おおさかの方でもしごとフィールドという形でやっているというお話はさせていただいたかと思います。エル・おおさかでも同じような機能、サービスは行ってるんですけど、京都ジョブパークと比べると人数的なものもそうですし、スペース的にもちょっと小さいなというイメージで、中身の就労サービス事業自身は同じでもやはり規模が違う。具体的には、エル・おおさかの方では、ハローワークコーナーに大阪東職安さんに入っていたらんですけど、確かブースが5つか6つ、5人か6人なんですけど、この場合は、職安の職員全



部合わせるとだいたい30名以上の方、このハローワークコーナーの方だけでも30名以上の方がいらっしゃる。ですので、それを聞くまで私自身は、これはハローワークコーナーと書いているのですが、いわゆる職安の出先と言うとおかしいですけども、本署、本体が来ているのではないのかと、こちらの方で言いますとロシアス庁舎みたいなイメージを持っていましたが、実は一体的実施事業のためにやってるコーナーなので、すごいなあという感想でした。なので、やはり規模の大きさっていうのがあるので、それぞれ出来ることも数多くあるでしょうし、それとここにあるように農林水産であったり、いわゆる福祉人材コーナーであるとか、同じ就労施策を行う形でも、農林関係のセクションが入っていたり、福祉セクションのところが入っていたりして、労働セクションだけではない形で就労支援が行われているんだなと思いました。

有 ありがとうございます。

→ **ちなみに、広さはどれくらいあったんですか。**

府 テルサ西館の3階が全部ですんで、結構広がったです。

有 建物自体は5階か6階あるので、そのワンフロアを使っていますね。

府 そうですね。

→ **ワンフロア。**

有 はい。

府 京都の場合は北ジョブパークというのもあって、福知山でもやっているんですね。

有 私も実は何度かここに行ったことがあって、特に困窮者支援をやっている自立就労サポートセンターの調査事業なんかを少し参加したことがあるのですが、ここの特徴は、先生がおっしゃったように総合受付が非常に見やすいと言うか、しっかり機能しているというのがまずあります。ただ、対象としている人たちは、大阪で言えば先ほどあったようにエル・おおさかの3階でやっている事業と同じ。ということは、我々が新労働施設で支援しようとしている対象者に比べれば、もう少し安定した層がむしろメインだということです。自立就労サポートセンターの困窮者支援は、大阪府さんはエル・おおさかで困窮者支援やってるんですが、市町村でやってる困窮者支援の窓口に来る人たちと府、県がやってる窓口で来る人はちょっと層が違うんですね。府下全域から来るっていうこともあって、ちょっと安定した人が多い傾向があります。もちろん、メンタルの問題を抱えてる人たちも多いので、支援のところは、かなり福祉的なことも含めて丁寧な支援が求められているということは、やっぱりしっかり強調されているところがあります。あいりんでの新労働施設で一体的にやろうとしたときに、このものに絡めて言えば、自立就労サポートセンター、それと生活相談コーナー、という風なところでの一体的実施を、この京都の取組みからどう学ぶのかなという風なことと、実はエル・おおさかこことの関係って今は切れてますよね。これも、ある意味、少し有機的に繋ぎながら、ひょっとしたら、エル・おおさかの就労支援の方が適している人もいるかも知れないので、そっちにも繋ぐとかね、という風なことも考えながらやっていかなければならないだろうなという風に実は思っています。それともう一つは、ここに関しては、もちろん京都を学ぶ必要はあるんだけど、やっぱり福祉というようなところもしっかり入れ込んでいく必要があるんです。国はですね、今、困窮者支援と生活保護の就労支援は、一応仕組みは別立てですけども、一体的実施というのを国は推進しようとしていて、3年ぐらい先には、ちゃんとした国の方針として生活保護被保護者と困窮者に対する就労支援を全て、全てじゃないけどかなりの部分で一体的にやることを求めるという方向になります。なるというのも、その方向で議論を進めようとしていて、実はそれのための基礎資料の調査を私ずっと東京のある研究所と一緒にやってきたんですけど、これは厚労省とも一緒に議論しながらやってきたので、そういう方向なんですよ。そこも含めて、あいりんの新労働施設の就労支援を考えないといけない、要は生活保護、困窮者支援というところも、視野に入れた支援の仕組みにしないと

いけないということですね。それからジョブパークのこのチラシの一番最後のページに、マザーズジョブカフェがありますけど、ここにキッズルームの写真が出てますよね。これは確か僕も見たことがあって、館内マップで言うと8番と10番の間ぐらいの角っこのところに作られていたと思うんですね。そういう意味で、こういったものも必要であれば、あいりんにおいても作ることが求められるだろうと私は思っています。そういう意味で、ここも、もし行かれるのであればしっかりと見てきてほしいという風に思います。

府 できたら、エル・おおさかも近いので。

→ **そうですね。本当ですよね。**

府 キャリアカウンセラーなんて、エル・おおさかでも数十人もいてるんですね。

府 そうですね、分野ごとで十数名おられますね。

府 そういう意味では、きっちり同じこともやってるし、キッズコーナーっていっても、フィールドでは託児所、育児所があったと思います。

府 そうですね、託児コーナーとかそういうのもあるので、割と似通っているところがあります。ただ、かなり規模は大きい。

府 負けてないんですけど、やっぱり規模が、というところですね。それと一番最初にあった、総合受付なんですけども、新労働施設でも1階に、曲線で丸みを持ったカウンターを作ってもらってるんですけど、京都ジョブパークの方は大きいですね。同じように曲線で、半円のカウンターでしたので、こんな風になるのかなという風に思いました。後ろにはパソコンコーナーなんかもあって、普通にパソコンが使えるというのもありましたね。

→ **いずれにしても、後発組の優位性というものを、とことん活かさないといけませんよね。**

府 ということですね。いいところをどんどん取り入れていくというね。課題もあるとはおっしゃっていましたが。やっぱりその辺りは、課題は課題として聞いて来て、そこを改善しながら、先生おっしゃられるように、後発組として、いい就労支援サービスというのを実現していかなければいけないと思っています。

有 他にフリースペースと言うか、比較的自由に使える空間というのは、あんまりないんですか。

有 そうですね。それはあんまりないんですけど、何せ広いので。行ったとき、結構利用者さんおられました。平日の午前だったんですけど、若い方を中心に、20代、30代ぐらいが多かったかな、印象としては。60代の人とかは、ほぼ見かけなかったですね。館内マップがありますように、結構、空間は広いので、エレベーター周りとかに、エレベーターには載っていませんが、その地図には、ベンチとかがありまして、そこで、ゆっくり休まれている方なんかもいらっしゃいました。余白の空間はあります。

有 例えば、新しい今日の基本設計みたいに1, 200㎡ぐらいの待合的な、こんな空間はないですか。

有 そんな空間はないですね。

府 それはないですけど。

有 新労働施設はそれが特徴ですよ。

有 そうですね。何百人の方とかが、面着するために集まるとか、そういうのはないですね。

有 それって前向きに何か使いたいということですよ。

有 イベントとかするような広場みたいなのは、ない感じですね。

有 実際その建物の中で、体験型のね、支援というのはなかったように思うんですけど、もう一度確認しないといけないんですけど。

→ **課題をとことん聞いてきていただきたい。それこそ、行って聞けばいいんだけど、ここは交通の便が不便なところでしょ、九条の、という印象がある。**

有 JRの京都駅から歩いて15分で行けるんですよ。

→ そうなんですか。もうちょっと遠いのかと思っていた。

府 京都駅から、今言ってるように一駅ですし、最寄りの東寺駅から5分ぐらいです。

有 一駅ですよ。

→ そうなんですか。

有 地下鉄で一駅なんですよ。

→ 新今宮の優位性は、それこそ言わなくても、交通の要衝だということですので。

府 京都駅にも七条のハローワーク自身があるんですよ。一駅向こうのところにも。

有 ということで、また委員さんが案内してくださるということ。

→ はい、みなさんまた、地域委員のみなさん、行政のみなさん、声かけて日程を聞いていきますので、よろしければお答えください。

府 一応、向こうの方にはですね、また正式に視察をさせていただきたいという形でお願いしました。視察というのが結構多いみたいで、ホームページの方にもきちんと視察を受け付けるようになっていました。

→ 私は自立就労サポートセンターにきわめて強力なコネがございますので、ホームレス自立支援全国ネットでも繋がっておりますので、活用させていただきます。

有 どこを窓口にするかによって、案内の内容がちょっと変わってくると思うんです。そこはまた、ご相談しましょう。

→ そうですね。先生、お願いします。

有 言ってるのは〇〇さんのところ。

→ はい、〇〇さんのことを思ってたんですけど。

有 すいません、話が飛んでしまって。まずは、議論の文脈的には、インテークとかをどのように進めているのかを中心に、入り口のところを中心に聞いていった方がいいかなと思います。これから議論を尽くしていったら、今度、内側の連携はどうなっているのかとか、困窮者の形は、どういう風にここではサポートしてるの、みたいな、そういう支援の中身の話をしてもいいかなと思うんですけど。今、設計の話を中心にしてるので、動線の話とか、インテークでどこら辺りまでを受け止めているのかとか、受け止めた後、どういうところで個別相談してるのかとか。限られた時間の視察になると思うんで、と思っています。

有 ありがとうございます。京都ジョブパークの紹介ということで議論を進めてきましたが、何かこれに関してみなさんから質問とか、ご意見とかあれば、よろしいですか。

→ また、直接見に行けるのであれば、それを見に行ってから、また話す場がいただければすごくありがたいなと思います。

有 そうですね。それはちゃんと開きたいと思います。

府 視察の報告会みたいな感じですよ。

→ 報告会みたいになるのか、それともエリマネで就労・福祉専門部会の領域になるのか、どんなものがあたらいいのか、何を求めるのか、建て付けがちょっとどっちなのか分からないですけど、その辺りは有識者の方が調整してくれると思うんで。

有 何を活かせるか、というところを、それぞれの部会で、委員の間で意見調整する場が必要だということですよ。

→ いい感じだったら、おもしろそうやなと思うんですけど、こういうのって、パンフレット上はすごく良くて、生きてない場合が往々にしてあるんで、生で見たい。

有 どうもありがとうございます。ちょっと今日は早いんですが、いいですか。今日の議題2つ終わったという扱いにしたいと思います。よろしいですかね。では、本日の報告事項の方に入ってい

きたいと思います。事務局の方からお願いいたします。

府 はい。そうしましたら労働施設検討会議の議事概要の取扱いなのですが、第63回、今年の10月25日なのですが、議事概要につきましてはホームページに掲載済みになっております。そして、次回の労働施設検討会議の開催日程なんですけれども、開催日程は未定なのですが、開催させていただくときには、開催案内を各委員にお持ちさせていただいて、きっちりと周知させていただいた上で開催させていただきたいという風に思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

有 この検討会議の開催日程未定という報告であるんですけど、基本設計の具体化の進捗状況にも影響されますよね。

府 いったん基本設計は終わった形になっておりますので、通常であれば実施設計の方という形に入っていくんですけども、ご存知のとおり、工事の方に入れない状況にありますので、このままちょっと期間が空いてしまいます。

有 実際はどの時点から実施になるんですか。

府 通常、実施設計は建設工事の前年という形になりますね。

有 だから、解体が目途がつかないと。

府 まあそういうことですね、解体して、解体が終われば今度建設工事という形になって、その建設工事の前年に実施設計に入るということです。具体的に言えば、解体期間中に実施設計に入っていくという形になります。

有 あと、検討課題として、新労働施設における一体的実施事業については、行政機関の方が中心になって議論を進めている訳ですけど、一方で新労働施設における支援のあり方というのは、就労・福祉・健康のところでやってるので、ちょっとこれ、同じものがですね、分裂して二つのところで議論しているような恰好になるので、ジョブパークのものを踏まえた議論をですね、一体的実施事業のあり方のことと、実際の支援のやり方の話と、両方絡んできますよね。そういう意味では、労働施設検討会議と、就労・福祉・健康の部会を合同でやるということも必要なかなということも思っています。

府 そこは状況に応じて調整の必要があるかも知れませんね。

有 その辺のことも一応視野に入れながら、次回のこの会議の開催のあり方を、もう少し事務局の方で検討していただければ、という風に思っています。

府 はい。

有 それでは、今日の労働施設検討会議、これで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。